本校ホームページです
（各種チラシ等のデジタル配信も行っています。）

学校だより第７号　　令和８年１０月３０日　　新宿区立戸塚第三小学校

ながれ

今年度は開校 101 年目です

言い方・伝え方・伝わり方…１１月はふれあい月間です

校長

同じことを伝えるにも、「〇〇してはいけないよ」「〇〇しないで！」と禁止を伝えるより「□□するともっとステキだよ」という言い方で話したほうが、受け取る側の気持ちやその後の行動が変わってきます。「伝え方」と「伝わり方」という視点です。例えば、学校生活では、私たちは日頃から「廊下は走りません・走っちゃいけないよ！」という声かけではなく「廊下は歩きます・歩きましょう」と促すなど、「伝え方」を工夫し、「伝わり方」を考えて行っています。（もちろん、危険が差し迫り、緊急を要するような事態の際の制止等の場合は、すぐに伝わるように毅然と強い言い方で声を発します。）「（言われていることは）分かるんだけれど、『言い方』でやる気なくすんだよね」と、子供たちがよく口にしています。ご家庭ではいかがでしょうか。

「言葉」は、目には見えませんが、心を繋いだり、あたためたりすることができます。反対に、使い方を間違えると、悲しい思いをさせ、心を傷つけてしまうこともあります。鉛筆で書いた文字は消しゴムで消すことができますが、一度口から出てしまい届いてしまった言葉は、取り消すこと、なかったことにすることができません。

感情が高ぶって思わず使ってしまった、言いすぎてしまった言葉で、もし相手を傷つけて「伝わって」しまったということであれば、心からお詫びをして、誠実に謝ることで、もしかしたら許してもらえるかもしれません。お互いの時間の流れの中での「思わず」なら、まだ挽回の余地はあるでしょう。しかし、相手が傷つくと分かっていて、意図的に良くない言葉を使うこと、個人でのその行為はもちろんですが、複数人で「嫌な思いをさせるために」あるいは「怒らせるために」と言葉や態度で傷つけることは、取り返しがつきません。絶対に許してはいけない、看過してはいけないことだと考えます。

自分と同じように他の人も大切にする、ということを改めて考え、関わり合いをていねいに見つめ直す１１月にしていきます。今月もよろしくお願いします。

女神湖移動教室　～大成功の３日間！学びを次のステップに～

５年担任

初めての宿泊行事、女神湖移動教室。２泊３日を仲間と共に過ごし、たくさんの学びと成長がありました。振り返りの中から一部ではありますがご紹介します。

- キャンプファイヤーが楽しかったです。みんなで火を囲んで踊り、寒い１日の中でも温かい時間でした。
- 頑張ったことは部屋での声掛けです。保健・整頓係として「上履きをきれいに置こう」などと声かけができました。移動教室でできたように、常日頃から大きな声でなくてもいいから、周りに声掛けをするように心がけたいです。
- 車山登山は、大変だったけれど、登ってよかったです。あいにく一番高いところからの景色こそ臨めませんでしたが、山頂付近では山々が素晴らしく雄大で、まるで海みたいだなと思いました。
- 女神湖で学んだことは、５分前行動と最後まであきらめないこと、積極的に手伝うことです。これからはこの３つを学校生活や普段の生活で頑張ろうと思います。
- 「協力」「感謝」の大切さを知りました。今後の目標は女神湖でできたことを継続していろいろなところに生かすこと、さらにバージョンアップして自分の強みにしていくことです。
- 班長の仕事を頑張りました。今までそういう役割をしていなかったけど、班をまとめたり班長会で話し合ったりするのが楽しかったです。自分の新しい一面を見つけることができたとても楽しい２泊３日でした。